

みんなのページは、みなさんが参加するページです。身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
TEL 0247-49-3115
FAX 0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

村民「随想」リレー ⑭ 私の幸せ



近藤 留美子 さん
R u m i k o K O N D O U

こんどう・るみこ ●昭和59年4月生まれ。渡瀬字田尻在住。好きなこと…写真、CAFE、家でのんびり。

私の幸せは、みんなが幸せな事。大切な家族や友人が幸せでいてくれる事が本当に幸せな事です。普段の生活の中では、あまり気付かない事が多いけれど、感謝する気持ちを日々忘れずにいたいと思うようになりました。

小学校二年生の時、鮫川村に引っ越してきました。不便な事も確かに多いけれど、たくさんの人と出会い、さまざまな経験をして、大きく成長する事ができました。小学校、中学校、高校と通うのほとても大変でしたが、今でも良い経験だったと思います。鮫川村のたくさんの緑や、きれいな星、おいしい空気、帰ってくるとやっぱり心がほっとします。

つらい事を乗り越えてこられたのも家族や友人、この実家があったからです。

この先、鮫川村を離れるときがくるかもしれませんが、きっとまた帰ってきたくなる場所です。こんなに素敵な所で育ててくれた親に感謝して、これからたくさん親孝行していきたいです。

そして、誰かの役にたてるような、幸せを与えられるような仕事に就くのが私の夢です。

■ 次は、田村恵さん（赤坂東野字戸草にバトンタッチ！）

家今井珠泉氏の再興第94回院展における文部科学大臣賞受賞を記念し、受賞作品を中心に22作品を展示します。／会期…11月6日（土）～12月5日（日）午前9時～午後6時（6日は午前11時30分～、金曜日は午後7時30分まで閉館）／場所…白河市歴史民俗資料館／入館料…一般：200円、小中高校生：無料／問い合わせ…白河市歴史民俗資料館 ☎0248-27-2310

投稿
●西山地区体育祭 西山地区の体育

●白河市制施行5周年記念特別企画展「今井珠泉展」 白河市出身の日本画

祭が10月10日、旧西山小学校体育館で行われ、ソフトバレーやゲートボールなど多彩な種目が行われました。参加者は競技を通して親睦を深めていました。[写真提供・水野茂男さん(宝木)]



広報文芸

しもつき 霜月

俳句

曼珠沙華今年の彩と決めており
朝霧や呼吸整うそばの花 中井 恒峯
過疎の村秋の祭りの幟立つ 齋須 信子
稲の丈長きに稲架を高く組む 山本 恵子
孫と入るないしよないしの紅葉風呂 北條 素人坂
万緑背に緞帳ゆらす如風雨 前田 縫子
鰯雲も見えないままに季は移る 黒田 寿香
姫守る山田の稲穂黄金波 松本 精一
平凡という幸もある金木犀 鈴木 米子
ドラム缶の風呂も馳走や野戦場 小松 ハルエ
大仰な秋の乱れを風が梳く 蛭田 浩市
山本 五十鈴

短歌

不登校 苛めに走る児童らに待た
るものは修身課程 坂本 雪絵
何事も良いと思えば続くもの野菜
作りの基はウォーキング 鈴木 イミ子
寿命とは自らつくり与えらるもの
ではないと益軒はいふ 前田 初
緻先にじゃがいもころろ現れて
農の生甲斐鼻歌にする 佐藤 春枝
暑ければそれなりの仕事見つけつ
つ花にくれやる散水の霧 遠藤 秀
霊にしもわが家は知れぬ苦もなし
唯に知りたき遺族の心 須藤 幸子
この夏に描いた水彩画の一つ心に
見れば若葉が匂う 溝井 清乃
散る枯葉手に受けつつ母の背に
揺られ帰りたい出の道 水野 珠子
庭に来る小鳥にさえずる関心を持ち
てさやける曾孫の声は 関根 瑞恵

日常の体の鍛え散歩へといざなう
ものか風もやさしき 柿沼 鯉乃
かあかあと呼べばいつもの鴉来て
今朝も撒きやる生ゴミを摂る 中島 三次
夜は更けて東の空を焦がしつ二
十三夜の月昇り来る 藤田 トク
立つ風に寒さ覚えつわが畑のささ
げの支柱片付けすむ 矢吹 定子
ごろごろと南瓜の実る畑に来て密
に偲ぶ夏の暑さを 坂本 伊紀
尖閣が危うしというもこの国の未
だ覚めざる泰平の夢 一 平子
暑き日のまだ去りやらずのゲート
場に宙を描きつつ黄葉の舞え散る 森 芳子
我が庭の大木伐採その時に夫と朝
なに仰ぎしを偲ぶ 杉山 磯子
今日もまた朝より雨の降り止まず
稲刈り適期になっているのに 関根 ハナヨ
野の道に茂る夏草ばらばらと朝露
こぼし夏は去り行く 板橋 源良

群すずめ稔りの秋の風物詩影をひ
そめてどこ行ったのか 松本 一郎
新しき五十鈴の橋を渡り行き伊勢
の社に感謝の祈り 前田 喜三子
老いしとは各の如しと嘆きつつ思
い浮ばぬ字は辞書類 石井 幸子
夫よりの教えられし田の管理う
まく成し得て黄金の波打つ 関根 富久
雨音が一人居の我に語るがに聞こ
える今宵亡き夫偲ぶ 藤田 千代子
晩年はいつとは知らず訪れむ闇に
眼の慣れ歩み行くがに 蛭田 浩市
彼岸花土手一面に咲き盛り秋陽を
受けて炎の如し 鷺野谷 満
ようやくに夫快方に向くや五
ヶ月ぶりの外泊かなう 関根 キヌ子
黄金田に案山子の立つも雀たち遠
慮しつつも啄ばみ続ける 北條 平
里の空望みつつ思ふ短歌大会親し
き友への表彰せしを 関根 一好

私と鮫川とぷーちゃんと Vol.7

緑のふるさと協力隊・松本かおりさんの鮫川村体験記です。

収穫の秋

ふとした瞬間に気づく空の雲や木々の色、畑や田に当たる光の加減がなんとなく秋らしくて、思わず見入ってしまうことが多かった10月。目をつむっても音や空気感で秋だと思えるときもある。

日々過ぎて、季節が過ぎました。栗拾いをした頃はまだ暑かった気がしますが、豆収穫の頃には朝晩寒くなりました。はせがけなんて見たことも聞いたこともありませんでしたが、不器用ながら稲をワラで束ねることができるようになりました。何人の先生に教えてもらったのだろうか。簡単そうにやってみせるのに、同じようにはいきません。でも大豆収穫のときも同じまるぎ方をしたので、覚えていてよかったなと思いました。

稲も大豆もそばも、鎌の使い方とか刈り方はそれぞれ違う。何をするにも新しい経験でおもしろいんだけど、前にやったことが生きるのもまたいい。

キノコを見つけたら、ハウスに勝手に生えたトロイモ掘りに白熱したり、思いがけないことにも遭遇しています。農作業はお天気勝負で予定通りに進まない。自然のリズムに合わせるから日常が楽しい。そう思います。



情報の泉



案内

●交流会 in やまつり 日時…11月23日（火・祝）午前9時～（鮫川村公民館8時集合）／場所…矢祭町体育センターなど／内容…スポーツ交流や芋煮会／参加費…男性：2,000円、女性：1,000円

円／対象者…男性：鮫川村・矢祭町在住の独身の方、女性：町村外問わず独身の方／申し込み・問い合わせ…村教育委員会教育課 ☎49-3151

●こころんアート展 日時…11月20日（土）・21日（日）午前10時～午後5時（19日は午後4時まで）／場所…生活支援センターこころん（泉崎村）／内容…芸術教室参加者・利用者、地域の芸術家によるチャリティー合同芸術展、／入場料…無料／問い合わせ…NPO法

人こころん ☎0248-54-1115

●しらかわ障害者就職面接会開催 企業と就職を希望する求職登録中の障害者を対象に障害者就職面接会を開催します。／日時…11月18日（木）午後1時30分～4時／場所…ホテルサンルート白河（新白河駅前）／問い合わせ…ハローワーク白河 ☎0248-24-0372

●標準営業約款制度「Sマーク」をご存知ですか 標準営業約款制度は、

第2回
鮫川村フォトコンテスト

作品募集

Samegawa Village PHOTO CONTEST
鮫川村フォトコンテスト

作品募集

「ユリの丘」(昨年度フォトコンテスト特選作品)

応募締切

平成22年
11月15日(月) 必着
作品受付 11月1日(月)～15日(月)

テーマ

鮫川村の四季を感じる風景

表彰

特選(1点) 賞金5万円
準特選(2点) 賞金3万円

特選(1点)	賞状・賞金5万円・副賞
準特選(2点)	賞状・賞金3万円・副賞
入選(9点)	賞状・賞金1万円・副賞
佳作(5点)	賞状・副賞

※入賞作品につきましては、後日原版(銀塩写真の場合はネガ・ポジ・スライドを、デジタルカメラの場合はJPEG形式で保存したCD)を提出していただきます。

主催 鮫川村

後援 福島民報社、福島民友新聞社

撮影地域

鮫川村内に限ります。

応募規格

カラー四つ切またはワイド四つ切(デジタルカメラ可)の横版で、平成21年1月1日から平成22年11月15日までの間に撮影したもの

応募資格および条件

- ・居住地(村内・村外)、プロ・アマは問いません。
- ・応募いただいた作品の著作権は鮫川村に帰属します。
- ・応募作品は原則として返却しませんが、返却を希望される場合は、応募用紙に返却方法を記入の上、返信用封筒に切手を貼ってコンテスト係まで送付してください。
- ・応募作品は、昨年の本コンテストおよび他のコンテストに応募されたものは除きます。
- ・入賞作品は、鮫川村ふるさとの四季カレンダーや村ホームページ、各種パンフレットに使用します。
- ・応募点数は1人3点までとし、入賞(入選)は1点とさせていただきます。

審査発表

11月20日(土)に審査し、入賞者に通知するとともに、11月27日(土)に開催される郷土料理を楽しむ会の席上で表彰します。

問い合わせ

〒963-8401
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
鮫川村役場企画調整課「鮫川村フォトコンテスト」係
電話 0247-49-3115 FAX 0247-49-3363
Eメール kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp

Young Plaza
若者の広場 72

村が元気になってほしいですね。

仕事はどんなことをしていますか？
東白堂ベーカリーでおじいちゃんと一緒にパンを作っています。

仕事で心がけていることはありますか？
お客様相手なので中途半端なものを作らないように心がけています。

休日はどんな風に過ごしていますか？
休みの日は家にいることが多いですね。集中して仕事をしているので、休みの日はリラックスできるように過ごしています。

これからチャレンジしてみたいことはなんですか？
だいたい先の話になると思いますが、自分の店を持ちたいですねそれと、たまにミルクパンやアップルパイ、近所からいただいた野菜を使ってパンを作り、一日限定で販売して今後のメニューの追加を

目指しています。

村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？
村全体に活気がないような気がします。車で走っていても歩いている子どもを見かけないので、本当に人がいるのかなと思ってしまいます。

村に必要なもの、要望などがありますか？
まず働く場所の確保だと思います。若い人が村の中で働けるようになれば、村外で使っていたお金が村内で使うようになり、村の中で生活できるようになると思います。うちの売上も上がりますね(笑)。それと人が集まる場所があるといいと思います。

次は、宗田めぐみさん(赤坂東野字官代在住)の予定です。

学校だより

(第73回)

青生野小学校 編

石山 公子 校長

児童 19人

大豆の収穫

五月に植えた苗は暑い夏を乗り越え、見事に育ちました、地面にしっかりと根を張る大豆を引き抜くのは、小さな子どもたちにとって力のいる仕事です。上級生や友だちと協力しながら、引き抜き、そして束ねて乾燥させる作業まで進めました。畑の先生の話では、例年になく大変良い出来栄えとのことでした。

この後、乾燥させた大豆で、青生野小独自のブランド、『いのち生き生き』豆腐を作り、保護者や地域の皆さんに販売する予定です。子どもたちは生産・販売を体験し、流通のしくみを学んでいきます。

(文・写真 青生野小学校)

13 広報さめがわ H22. 11

広報さめがわ 2010. Nov. 12